

(科目コード : 7001520072Y1)

【改訂】第31版(2013-09-20)

【科目】総合英語

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】後期・2単位

【対象学科・専攻】1組 2年

【担当教員】熊谷 健

【授業目標】

高専1年と2年前期で学んだ英語の知識を土台に、英文講読、英文法、英作文、発音/リスニングを総合的に学習することで、「読む、書く、聞く、話す」の4技能を向上させ、将来国際的に活躍する技術者に必要とされる総合的な英語力の基礎の完成を目指す。2年次は英語の体系的理解の確立を目指す時期であり、品詞の理解と英文構造(文型)の把握に特に力点を置く。さらに、英語学習の基本的能力として、辞書を自由に駆使する力を育成する。

【教育方針・授業概要】

- ・本授業は学生個々人の学習活動に重点を置く。
- ・テキストの講読を行いながら、個々の英文法項目を学習し、効果的に英文を理解するための道具として用いる。
- ・英語の体系的理解の確立を目指す時期であるので、品詞理解の確認から始まり、文型理解、構文理解へと段階的な学習アプローチをとることによって、体系的な文法規則理解に結びつける。
- ・文法項目の定着をはかるため、関連する練習問題の演習を繰り返し行い、また、学習文法項目を適切に活用する能力の育成のために英作文の練習も行う。
- ・英語講読の際に導入される新出単語やさまざまな英語表現を学習するとともに、発音練習やリスニングの学習活動を通して、それらの知識の定着をはかる。

【教科書・教材・参考書等】

教科書: UNICORN ENGLISH COURSE II: 市川泰男ほか: 文英堂: 978-4-578-02003-5

教科書(文法): FIT ENGLISH GRAMMAR in 28 STAGES (フィット英文法): 荒木一雄(編者): 数研出版: 978-4-410-36202-6

参考書: 総合英語 Forest (フォレスト): 石黒昭博監修: 桐原書店: 978-4-342-01020-0

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

座学・演習形式、視聴覚機器

【メッセージ】

英語力をつけるには、積極的に学習することが不可欠である。予習の段階で丹念に辞書を引き、授業でその学習項目を確認し、分からない部分は積極的に質問すること。また、スピーキングの練習においても積極的に声を出すこと。復習は計画的に行い、学習項目の理解と定着を先延ばししないようにすること。英語学習全体を通して辞書の積極的活用は、体系的な知識形成に大いに役立つので、是非実行してもらいたい。

【事前に行う準備学習】

品詞と文型の復習。

【備考】

前期の総合英語 I で学習した項目の中で、理解が不十分なところをしっかりと復習して臨んで下さい。

【成績評価方法】

[後期]中間試験: 40%, 期末試験: 40%, 課題提出を含む授業への取り組み: 20%

【授業計画】(総合英語)

| 回数 | 授業の主題 | 内容 | レポート | 宿題 |
|---------|--|---|------|--------------------------|
| 1 | 授業紹介 | 授業目標、進め方、評価方法などの説明 | | |
| 2 ~ 3 | Lesson 5 A TOUR OF THE BRAIN | 関係代名詞・関係副詞の非制限用法(継続用法)、複合関係詞(関係詞 ever) | | 課題 No. 1 ~ 課題 No. 2 |
| 4 ~ 5 | 比較構文 | 比較変化、原級を用いた比較表現、比較級を用いた比較表現、最上級を用いた比較表現、慣用表現(FIT: 比較(I)(II)) | | 課題 No. 3 ~ 課題 No. 4 |
| 6 ~ 8 | Lesson 6 LONE VOTE ---THE LIFE OF JEANNETTE RANKEN | it形式主語構文、it目的語構文、発展的な比較構文 | | 課題 No. 5 ~ 課題 No. 6 |
| 9 ~ 10 | 仮定法 | 仮定法過去、仮定法過去完了、未来についての仮定、If-節に代わる語句、願望・意見などを表す場合、慣用表現(FIT: 仮定法(I)(II)) | | 課題 No. 7 ~ 課題 No. 8 |
| 11 ~ 13 | Lesson 7 THE LESSONS OF EASTER ISLAND | 補語になる that 節、it-that の形式主語構文、動詞 seem が that 節を取る用法 | | 課題 No. 9 ~ 課題 No. 10 |
| 14 | まとめと復習 | 学習事項のまとめ、文法事項の復習と確認 | | |
| 15 | 習熟度の確認 | 中間試験 | | |
| 16 | 学習内容理解への傾向と対策の検討 | 中間試験の解答、学習事項の再確認、後半の注意事項 | | |
| 17 ~ 18 | Lesson 8 THE FUTURE OF CLONING | 仮定法過去完了、as if, I wish, if 節がない仮定法、仮定法現在 | | 課題 No. 11 ~ 課題 No. 12 |
| 19 | 強調・倒置・省略 | 強調・倒置・省略(FIT: Lesson 30) | | 課題 No. 13 |
| 20 | 無生物主語・名詞構文 | 無生物主語構文、名詞構文(FIT: Lesson 31) | | 課題 No. 14 |
| 21 ~ 23 | Lesson 9 THE YOUNGER DAYS OF PATCH ADAMS | 倒置構文、強調構文、間接話法 | | 課題 No. 15 ~ 課題 No. 16 |
| 24 ~ 25 | 時制の一致、話法 | 時制の一致とその例外、直接話法と間接話法、疑問文・命令文の伝達(FIT: 時制の一致・話法(I)(II)) | | 課題 No. 17 ~ 課題 No. 18 |
| 26 ~ 28 | Lesson 10 ENDANGERED LANGUAGES | 同格、名詞構文、名詞表現、無生物主語構文 | | 課題 No. 19 ~ 課題 No. 20 |
| 29 ~ 30 | まとめと期末試験準備 | 学習事項のまとめ、文法事項の復習と確認 | | |